

林業普及指導員の「木材利用推進」情報

■北海道（総合）振興局森林室に勤務する林業普及指導員からの情報です

「厚沢部町木造公共建築物見学会」の開催

檜山振興局森林室

【取組の目的】

厚沢部町では、平成23年10月「厚沢部町地域材利用推進方針」を策定し、地域材を使用した木造公共施設の建築等を推進しています。

このため、当森林室では、厚沢部町と連携し、地域住民及び建築関係者等に対し、地材地消の理解を深めてもらうとともに、地域材の利用促進を図る目的で、町内で建築している木造公共施設の見学会を開催したので紹介します。

【見学会の概要】

- 開催日：平成24年11月8日（木）
- 開催場所：厚沢部町新町・本町
- 主催：厚沢部町
後援：檜山振興局
- 参加者：一般住民、建築関係者、林業関係者等51名
- 内容

『情報提供』

①「道産木材利用の必要性」について

森林室 主査（木材利用）

木の効用や地材地消の経済波及効果、地域材利用の助成制度を説明。

地域材利用の必要性について普及啓発。

②「厚沢部町地域材利用推進方針」について

厚沢部町 林業振興係長

公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律や北海道地域材利用推進方針に即した町の地域材利用推進方針を説明。

木造公共建築物のほか、一般住宅、農業施設、木製品、森林バイオマス分野への地域材の利用促進について、参加者の意識向上を図った。

『木造公共建築物の現地見学』

町建設担当者から概要説明

- 厚沢部町民プール（平成22年建築）
木造平屋建 木質2方向ラーメン構造
延べ床面積：912.27㎡
木材使用量：153.33㎡³、内地域材150.11㎡³
（構造：カラマツ、内外装：スギ）
- 医師駐在センター（建築中）
木造2階建 木造在来工法
延べ床面積：74.52㎡
木材使用量：32.6㎡³、内地域材26.0㎡³
（構造：トドマツ、内外装：スギ・トドマツ・タモ）
- まちなか交流センター（建築中）
木造2階建 木質2方向ラーメン構造
延べ床面積：476.60㎡
木材使用量：105.7㎡³、内地域材93.4㎡³
（構造：カラマツ・トドマツ、内外装：スギ・トドマツ）

【取組の成果】

今回、厚沢部町で建築された様々な木造公共施設を見学したことにより、参加した厚沢部町民はもとより、周辺町から参加した関係者等に、木造の優位性について理解してもらうことができました。また、地材地消を推進するためには川上・川下関係者が連携し、檜山地域が一体となった取組が必要であることを認識してもらうことができました。

【今後の取組】

檜山振興局森林室では、今後も関係機関等と連携を図り、地域材利用の木造公共建築物等の見学会を開催し、「地材地消」の普及啓発を行い、地域材の利用促進を図って行きます。



町民プール見学



医師駐在センター見学



まちなか交流センター見学